

展示No	区分	□部品 □素材/材料 □設備/装置 □金型/治工具 □システム/ソフトウェア ■その他(溶接)
23	提案名	高い気密性とCO2低減を実現する次世代溶接技術
	工法	新規性
	溶接	特許出願中
会社名	(株)気密プロジェクト	所在地
連絡先	部署名: 代表取締役	URL: https://kimitsupw.com/
担当名: 新井 文武 (あらい ふみたけ)		Tel No.: 0823-51-2644
主要取引先	・ボルツ(株) ①・広島アルミニウム工業(株) ・(株)セイエン	E-mail: fumitake-arai@1group.co.jp
		海外対応 <input type="checkbox"/> 可 生産拠点国を記入 <input type="checkbox"/> 否

「*提案内容*」

提案の狙い	適用可能な製品/分野
<input checked="" type="checkbox"/> 原価低減 <input checked="" type="checkbox"/> 質量低減 <input checked="" type="checkbox"/> 生産(作業)性向上	鉄材、SUS材を使用した自動車のパイプ部品
従来	新技術・新工法
課題	課題解決ポイント
< 市場環境 > 国内排出量取引制度(キャップ&トレード)が2026年度から本格稼働し、CO2排出量が直接コストになる時代	< 課題解決 > “ろう付”の代替となる特許出願技術
< 課題 > ・製造時のCO2排出量の低減 ・圧力配管の接合に用いられる “ろう付”はCO2排出量が多い工法	< 技術的要点 > <u>・CO2排出量がろう付と比べて1/10以下に低減</u> ・気密配管に適用可能(耐リーグ圧力0.4Mpa) エンジンオイルや燃料配管の圧力範囲に適合 ・タクトタイムが1/3以下に短縮 ・母材強度以上、1.52倍の接合強度
< ニーズ >   冷却水配管 燃料ライン 従来(ろう付)部品	< 提案ポイント > ・“ろう付”の気密性と接合強度を維持し、コストダウンとCO2排出量の削減を同時に実現    冷却水配管 オイルジェット 燃料ライン 本技術で製造された部品
セールスポイント(製造可能な精度/材質等)	問題点(課題)と対応方法
・CO2排出量の削減とコストダウンを両立可能 ・作業時間の短縮により、納期の短縮と労務費の圧縮が可能	・プロジェクト溶接が可能な部品に限定 (厚板には不適) ・材質は鉄・SUS限定。アルミへの技術転用は

開発進度 (2025年10月現在)	パテント有無
□ アイデア, □ 試作/実験, □ 開発完了, ■ 製品化完了(採用: ■ 実績有, □ 予定有, □ 予定無)	有(特願2024-215904) (特願2025-38748)
項目	コスト
従来との比較	数値割合